
慢性看護学特論

Chronic Care Nursing

1 年次前期・選択

2 単位・30 時間

辻 あさみ 教授

鈴木 幸子 非常勤講師

【概要・目標】

慢性疾患と共に生きる人々への看護アプローチについて基礎となる概念について学び、実践と研究への適応を探究するとともに、慢性疾患と共に生きる人々と家族の反応や療養行動の特性、生活に及ぼす影響を社会的心理的に探究する。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 慢性看護学を学ぶ上で基盤となる看護理論と概念を理解する。
- 2) 慢性疾患の特徴や、慢性的な健康問題をもつ人々とその家族の特徴を理解し、慢性期看護領域における看護を学ぶ上で基盤となる以下の理論・概念を理解することができる。
- 3)～12) ・慢性看護領域における文献検討ならびにディスカッションをとおして、慢性疾患とともに生きる人々と家族についての理解を深める。
 - ・慢性看護領域における文献検討をとおして、慢性疾患とともに生きる人々と家族に対する看護援助について理解を深めることができる。
- <主な慢性看護学領域の理論・概念>
 - ・「慢性疾患の病みの軌跡」理論
 - ・QOL の概念
 - ・セルフケア理論、セルフマネジメントの概念
 - ・コンプライアンス、アドヒアレンスの概念
 - ・エンパワーメントの概念
 - ・自己効力感（セルフエフィカシー）の概念
 - ・不確かさの概念 など
- 13)14) 慢性疾患をもつ人々と家族に対する看護援助の課題を探究し検討する。
- 15) まとめ

【評価】

プレゼンテーション（40%）、ディスカッション（20%）、レポート（30%）、受講態度および出席状況（10%）から総合的に評価する。

【テキスト】

Pierre Woog ed 黒江ゆり子他訳：慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル、医学書院、1995.

【推薦参考図書】

適宜講義内で紹介する

【その他】